

## トウモロコシ生産者は、バイオ燃料によるコスト削減とエネルギー自立の促進を期待する バイデン大統領に感謝する

---

2022年4月12日

バイデン大統領は本日、より低価格で低排出ガスの無鉛オクタン価 88 として販売されている高エタノール混合（15%混合）ガソリンである E15 を夏季も継続して供給可能にすると発表した。

大統領はアイオワ州メンローにある POET 社エタノール生産施設でこの発表を行い、同席した米国トウモロコシ生産者協会（National Corn Growers Association, NCGA）会長のクリス・エジントンは、「トウモロコシ生産者はバイデン大統領がドライバーに低コストの燃料の選択肢を確保し、再生可能なエタノールがいかに価格を下げ、排出を減らし、我が国のエネルギー安全保障を向上させるかを認めてくれたことに感謝するとともに、トウモロコシ生産者が、このよりクリーンで安価な燃料の選択肢に貢献できることを誇りに思います」と述べている。

ロシアのウクライナ侵攻など、多くの要因がガソリン価格を押し上げる中、NCGA と全米のトウモロコシ生産者代表は、ガソリン価格の抑制を図るため、E15 の使用を延長するよう大統領に要請していた。生産者はまた、E15 の使用継続を支持するよう議員に要請し、ここ数週間で何千通ものメッセージを送り、本日発表された措置に対する上院と下院の超党派の支持を取り付けた。

エタノールの価格は、3月までの混合されていないガソリンより卸売価格で1ガロン当たり平均80セント（1リットルあたり約21円）安く、ドライバーは現在、E15が利用可能な場所では1ガロン当たり最大20セント（1リットルあたり約5円）以上節約可能である。

エタノールは米国内で年間約100億リットル供給され、高コストの石油需要を低下させると同時に、消費者への燃料供給を担っている。食糧、飼料、燃料の需要を満たすトウモロコシ生産者サイドでは、育種や投入資材量削減により、その生産性と効率の向上による収量の向上が図られている。

E15 を夏季も販売し続けることで、炭素排出量の少ない燃料を市場に供給し続けることが可能になる。E15 は、エタノールを 10%混合したレギュラー燃料（E10）より揮発性が低く、E15 を使用することで蒸発ガスや排気ガスが少なくなり、夏のドライブシーズンには重要な効果をもたらす。

トウモロコシ生産者はバイデン大統領、トム・ヴィルサック農務長官、そして議会と共に、エタノールが提供するエネルギーおよび環境問題への解決策に取り組み続ける用意があると、エジントンは述べている。

(アメリカ穀物協会による仮意訳です。不明点など正確には原文にあたられてください。)